

毎週 水曜発行

(8月から週 1 回発行となりました)

復興ニュース

39号
2011年
8月24日

発行：気仙市民復興連絡会
大船渡市末崎町字石浜 34-1
<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp/>
Twitter @KesenShiminFR
<https://www.facebook.com/kesenfukko>

“空を見上げて”

8月28日(日)、
東北復興支援熱気球体験搭乗会



～ 熱気球のそばにはいつも子供たちの笑顔がある！！～

3月11日の未曾有の大震災から5カ月。不自由な生活を余儀なくされている子供たちに笑顔を取り戻してもらおうと、熱気球体験搭乗をプレゼントします。

この体験搭乗会は、大船渡市の友好都市である佐久市と熱気球運営機構の呼びかけで、「熱気球ホンダグランプリ」を開催している「佐久市：信州コスモス」、「佐賀市：佐賀錦」、「鈴鹿市：ベルディ2号」、特別協賛している「本田技研工業：ASIMO」また、東京の「バルーングループ風まかせ：キュウ丸」と地球の映像をそのまま熱気球に再現した「ワンダーグローブ号」6機の気球が全国から参加いたします。また、地元「みちのくバルーンクラブ」の熱気球の仲間たちにも協力していただきます。

【ワンダーグローブ号】

世界に一つしかない地球の気球「ワンダーグローブ号」を見ることで、自分がこの美しい地球の一員だということを認識し、ふるさと復興の力になることを願っています。ワンダーグローブ号は、地球の未来を担う子供たちに地球を身近に感じて、身体も心もワクワクする機会を提供し、希望の環境教育を目指す「ワンダーグローブプロジェクト」のシンボルバルーンです。直径は約15m。地球の約1/85万の大きさです。

ふわりとした独特の浮遊感、上空約20mから360度パノラマの景色が眺められる熱気球体験搭乗は、空に憧れを持つ多くの人に人気のイベントです。フリーフライトではなく、車等をアンカーとして使用し、そのロープの長さだけ上空に上がる係留という形をとることで、より多くの人に熱気球を気軽に楽しんでいただくことができます。熱気球は風が比較的安定している早朝に実施します。朝の清々しい空気の中、親子で熱気球を楽しんでいただき、被災地にはじめてお目見得する美しいワンダーグローブ号を見てもらうことで、元気になっていただけることと思います。

【日時】8月28日(日) 午前6:30～会場受付テントで受付(先着順/事前受付なし)

【場所】岩手県大船渡市盛町 盛川河川敷サッカー・ラグビー場

【内容】7:00～10:00 熱気球体験搭乗会/11:00～12:00 熱気球教室

【対象】岩手県、宮城県、福島県で被災された方々

【注意】熱気球体験搭乗：先着500名程度(当日の天候等により増減します)

*天候(雨・風)により搭乗を中断・中止いたします。

*妊娠中の方はご搭乗できません。

*体験搭乗の時間は、乗り降りを含めて5分程度です。

*熱気球教室は、全員参加できます

*当日、参加の子供たちに画用紙とクレヨンを300組配布し、会場の気球の絵を描いてもらいます。

*トイレは会場内には有りませんのでご注意事項です。

*当日はシーパル大船渡で他のイベントがあるため、シーパル大船渡への駐車はご遠慮ください。

【御問合せ】NPO法人 熱気球運営機構 <http://www.air-b.com/> TEL:042-394-9078



[主催]NPO 法人 熱気球運営機構

[協力]大船渡市、佐久市、佐賀市、鈴鹿市、本田技研工業株式会社、ソニー株式会社、認定NPO法人アレルギー支援ネットワーク、株式会社オフィスJ&Lコーポレーション、リスタート・ジャパン・ファンド、公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
[運営協力]佐久熱気球クラブ、バルーングループ風まかせ、鈴鹿熱気球市民クラブ、バルーンクラブU2、那珂川バルーンクラブ、バルーングループくもすけ、みちのくバルーンクラブ、東北大バルーンクラブ

[順不同]



子育て中のおとうさん、おかあさんへ。



ただでさえ大変な子育て。なのに、震災後のストレスや心労も重なり、以前より大変な思いをされている親御さんも多いのではないのでしょうか。そんなとき、どうされていますか。

子育ての悩み…わたしだけなの？

近くに子どもがいない… 話し相手がいない…

毎日子どもと2人きり… 時間が長く感じる



子育ては長期戦。復興への道のりのように大変なものです。

ひとりで抱えないで、子育て支援の施設を覗いてみてくださいね。

子ども同士、親御さん同士、きっと気の合う仲間が見つけれられると思います。

そうしたら、子育ても毎日もしっかりと楽しくなりますよね！一緒に歩いていきませんか。

【陸前高田市内】

◎親子のひろば【きらりんきっず】 【利用料金】無料／事前予約などは必要ありません。

【場所】陸前高田市高田町字鳴石 48-4(カフェフードバーわいわい様内)

【利用時間】月曜・金曜 10:00～正午迄、火曜～木曜が 10:00～15:00



こんなときだからこそ子育てしている者同士で話をし、少しでも気持ちをラクにしてくれる場になれば…。子ども同士の交流だけでなく、子育て中の親同士の交流ができるよう“細く長く”活動をしていきたいです。子育ての悩み・不安・わからないこと、どんなことでも気軽にお尋ねください。(代表の伊藤昌子さん談)

【大船渡市内】

◎つどいの広場【わいわいステーション】 【利用料金】無料／事前予約などは必要ありません。

【場所】大船渡市総合福祉センター 2階学習室 (盛町下館下 14-1)

【利用時間】毎週火曜～土曜 10:00～15:00 【対象】0歳～小学校入学前の親子さん



つどいの広場は未就学のお子さん、その親御さんが安心して遊べる場所です。子育て情報の提供や相談も行っています。

(大船渡社会福祉協議会より)



これからのイベント開催情報 ~子育て支援関連~

☆いっしょにあそぼう！

【日時/場所】8/29(月) 9:30～11:30 児童家庭支援センター大洋 ※参加費 100円(保険料)

【主催/問合せ】のびのび子育てサポーター【スマイル】 Tel0192-26-2908(代表:村上トメ子)

☆ケロケロひろば 立根保育園未就園児教室『水遊び・保育園の玩具で遊ぼうね』

【日時】8/20(火) 10:00～11:00 立根保育園 ※参加費無料

【主催/問合せ】立根保育園 Tel0192-26-3645



※お問い合わせは、各主催団体までお願いします。

世界遺産“平泉の文化遺産”講演会が行われました。 ～8月12日(金)地ノ森団地仮設住宅集会所～



地ノ森団地仮設住宅の自治会では、このたび世界遺産認定を受けた「平泉」の関係者を同住宅内集会所に招いて、講演会を催しました。この企画は“なんとしてもお盆に入る直前までに間に合わせたい”との想いがあり、日程調整を繰り返し実現させたもの。語り手・講師は、テレビ等にも多数出演されている岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課(文化財・世界遺産)課長の中村英俊氏。

参加者は仮設住宅の住民のみならず、ベンチ制作に来ていた青山学院大学のボランティアなどで、総勢 50 名ほどが集まり、集会所は満員に。全員で黙祷したあと講演会は始まりました。

大型スクリーンを用いた講演は、とてもわかりやすく平泉の歴史を解説したほか、「世界遺産とは何か」の解説も交え、参加した誰もが興味深く中村氏の話に聞き入りました。

“「平泉」は、気仙の金山なしでは語れず。”



気仙の黄金は平泉文化を支えたとされています(今出山金山など)。

講演会に参加された男性は、

『この時期に講演会と聞いて、被災地とどんな関係があるの?と思っていたが、気仙地方と深いつながりがあると知ることができ、参加してよかった』と感想を話してくれました。



配布されたパンフレット

自治会長の清水さんは『“戦争の犠牲”と“3.11の犠牲”、そして“平泉の国づくり”と“復興・町づくり”には被るものがあると感じている。気仙なしでは国づくりの基礎はなかった。年配者のみならず、若い人たちにも話をきいてもらえていい機会だった。』と話されていました。

平泉が世界遺産として認定された理由のひとつとして、

“自然を生かしながら、平和な社会を目指した国づくり”があるそうです。

清水さんが今回、この講演会を実現させたかった理由がここにあるのだと見えてきます。

震災からの復興は、この平泉の国づくりと共通したものがあり、参考にできることが多くありそうですね。



※資料は中村英俊さんが講演会の際ご用意されたものを転載しています。



6/14(火)に三陸中部森林管理署前の道路脇花壇にまいたヒマワリの種。“復興祈念ひまわり”と名付け先日、第一号の花が咲いたばかり。8/23にはたくさんの花が太陽を見上げて満開！大きい花は、人の顔の2倍くらいあり、高さ2m近いものまであります。



津波で潮に浸りヘドロにまみれた土でも、こうして立派に成長することができるのです。まだ蕾もたくさんありますのでまだまだ咲きそうです！

約 100 本のひまわり畑、ぜひ観に来て下さいね！

↑ 看板設置しました

— 編集後記、徒然 —

気仙市民復興連絡会 広報担当: やまぐちなみ

LIGHT UP NIPPON



先日、三陸町越喜来で開催した花火を観てきました。犠牲者への追悼の意味を込めるだけでなく、みんなを元気にしたいという思いから、被災地域沿岸 10 箇所で開催されたものです。個人的に感じたのは、ドーンドーンと静かに、丁寧に打ち上げられているという印象。崩れた建物や、更地になった陸地が花火の光で時折照らし出され、なんともいいがたい切ない気持ちになったのは、私だけではなかったと思います。



それでも、美しいものを見れば瞳は輝きます。キラキラと輝いて、“わぁ～きれいだなあ”って、アタマが思う前よりも先にココロが感じたりして笑顔になれるのが“人”だと、私は信じています。“こうでなきゃいけない”なんてありません。笑いたくないときは無理して笑わなくていいんです。ただ、時には何に気兼ねすることもなく楽しんで前に進むことが大切だと感じています。

追伸

花火の写真は白黒印刷ではうまく伝えられません。ごめんなさい。(ブログではカラー版です)

連絡会からのお知らせ

気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信(助成金情報提供等)を行っています。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。広報活動のお手伝い(取材)も行かせていただきます。お気軽に広報担当までお尋ねください。

◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週水曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(8/24 現在)
御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

(陸前高田市) 陸前高田市役所(1 階ロビー) / 獺沢団地仮設住宅(モビリア)全 60 戸
マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(お花コーナーの後方)

(大船渡市) 大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手棚) / カメリアホール[大船渡市盛町](1 階ホール)
大船渡地区合同庁舎(1 階ロビー、1 階売店) / 大船渡社会福祉協議会(ボランティアセンター)
サン・リア(1 階昇りエスカレーター横の棚) / リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横の棚)
薬王堂大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー) / 薬王堂大船渡店(レジ横 L 字カウンター端)
マイヤ大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター) / YS センター(情報コーナー)
福祉の里(情報コーナー1 階ロビー) / 喫茶・ロリアン[盛町] / ダイマル店頭[盛町商店街]
佐々木荒物店レジ横[大船渡市盛町商店街] / 千田薬局[三陸町綾里]
地ノ森団地仮設住宅 全 72 戸 / 鳥沢団地仮設住宅(蛸ノ浦小学校) 全 47 戸 /
黒土田団地仮設住宅(綾里中学校) 全 90 戸 / 永沢仮設住宅(大船渡中学校) 全 137 戸

(住田町) 住田町役場 / 住田町仮設住宅 [本町団地全 17 戸 / 中上団地全 63 戸 / 火石団地全 13 戸]
住田町ボランティアセンター(大股地区公民館)

※上記一覧にない一部仮設住宅へも臨時投函させていただくことがあります。

[復興ニュース]第 39 号 2011.8.24.

発行 : 気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

または広報担当携帯 / 090-5456-9417(山口<奈>)

kesenshimin.f.r@gmail.com <http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>

【印刷ご協力】住田町役場 …ありがとうございます!

